

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第1回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	高 田 豊 繁	1 新規就農者の支援対策について	(1) 農業経営基盤強化促進法に基づく新規就農者の増大を図るための青年等就農計画の認定状況、青年就農給付金の給付状況はどうなっているか。また、町長は、青年等就農計画制度を今後どのように活用し、どう推進していく考えであるか。	町 長
		2 福祉サービス業務の運営強化対策について	(1) 社会福祉協議会においては、障害者自立支援協議会の設置に伴う相談支援業務やデイサービス等の介護福祉業務が増大していることから、有資格者の相談員や職員を増員し、運営強化を図る必要があると痛感されるが、町長は、要員の配置や増員に伴う補助金等の拡充計画についてはどう考えているか。	町 長
		3 保安林の整備について	(1) 寺崎海岸は、先の大型台風によって防風防潮林が壊滅し、背後地への災害が懸念されるが、県と連携し早急に保安林整備を推進する考えはないか。 (2) 整備箇所は個人名義になっているようだが、今後どう対処していく考えであるか。	町 長 町 長
2	町 俊 策	1 環境保全対策について	(1) 新ごみ焼却処理施設の建設については、くい打ちの基礎工事が始まっているが、本計画は、最終的に期別の工事内容も含めて幾らの金額で工事契約し、その平面・立面・側面等はどのように設計されているか。 (2) 周辺環境美化等については、どのように配慮されているか。 (3) 現在、リサイクルセンターに搬入された一般廃棄物は野面に分類・集積しているが、これを町民が廃棄す	町 長 町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 8 年 第 1 回 定 例 会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			<p>る際に、自分たちで分類し廃棄できるよう廃棄物ヤードにコーナー（仕切り）を設置することで、管理を容易にし、景観を保持するとともに、台風時の飛散を防止して安全性を確保する考えはないか。</p>	
		2 監査結果に基づく事務改善について	(1) 定期監査の結果、指摘された事項をどのように認識し、その改善対策を課・機関等の組織でどのように議論し、具体的対策をどう講じているか。	町 長
3	野口靖夫	1 観光振興対策について	<p>(1) 観光の振興が本町の最重要課題となっている中で、魅力ある観光地づくりを進めるためには、本町の地域資源である恵まれた美しい自然環境を再生するとともに、これをセールスポイントにした誘客活動を展開することが肝要であると痛感されるが、他に類のない公園整備や植栽事業を推進し、環境・景観の美化と保全に努める考えはないか。</p> <p>(2) 地域資源をいかした特産品の開発を強力に支援するとともに、ターゲットを修学旅行や各種スポーツ大会、合宿等の誘致にしぼり、積極的に有効な情報を発信しPR活動等に取り組む考えはないか。</p> <p>(3) マーケットの変化に対応するためには、田舎・外海離島のハンディをいかし、創意と工夫を凝らしながら、いかにして都会の住民の心を引き付け夢中にさせる魅力づくりを進めていくかが大きな課題となっている中で、メディアが取り上げたくなる環境整備の必要性も痛感されるが、具体的な対策をどう考えているか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 8 年 第 1 回 定 例 会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		2 ストップ少子化・子育て支援対策について	<p>(1) 少子化に歯止めをかける観点から、出産支援制度の充実が本町当面の課題の一つであるが、島外で出産する場合の交通費と宿泊費に対する助成を、実際に要している経費額も調査した上で、一層拡充していく考えはないか。</p> <p>(2) 子育て支援対策の一環として、幼児の保育等に従事しているこども園の充実の必要性が痛感されるが、意欲をもって働くことができるよう正規職員を増員するとともに、臨時職員の待遇を改善する考えはないか。</p> <p>(3) ふるさと創生や1億総活躍社会の実現が時代の要請となっている中で、義務教育期間終了時までの子供の医療費助成は、有効な子育て支援策になると痛感されるが、シンクタンクを設置・活用して、必要な財源の確保を図ることなどにより、子育てに係る医療費を助成していく考えはないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
4	林 敏 治	1 地方創生対策について	(1) 人口減少と超高齢化社会に歯止めをかけ地方を創生するためには、早急な取組の必要性が痛感されるが、具体的にはどのような手順で、どう計画的に推進していく考えであるか。	町 長
		2 廃屋の撤去対策について	(1) 本町は観光地であることから、島の個性的で魅力あふれる恵まれた美しい景観を維持・保全するため、これを著しく阻害し、かつ、防火・防犯上も問題のある廃屋を解体し撤去していく考えはないか。	町 長
		3 共同墓地の整備について	(1) 近年、少子高齢化や人口減少などで墓の在り方や価	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第1回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			<p>値観も多様化してきていることから、墓がない場合には、希望すれば島内外からその利用を申し込むことのできる共同墓地（納骨堂）を整備していく考えはないか。</p>	町 長
		4 緊急医療体制の整備について	<p>(1) 奄美にドクターヘリが導入されることにより、奄美大島・徳之島・三島・十島等全域がカバーされる体制が整うが、本町においては、沖縄県のドクターヘリや自衛隊のヘリを利用している実情にある。同じ離島やへき地ではあっても、奄美大島を中心とする緊急医療体制とは様々な点で異なることから、地理的に不利な条件下にあることで、離島の谷間となり、緊急医療面で取り残されていかないか懸念される。今後、関係機関と緊密な連携を図りながら、救急医療体制の充実の必要性が痛感されるが、対策をどう講じていく考えであるか。</p>	町 長
		5 自衛隊訓練場の誘致について	<p>(1) 昨年は、陸上自衛隊が総合グラウンドで通信訓練を行い、今年も陸上自衛隊の音楽隊によるふれあいコンサートが開催されたが、これらの実績も踏まえ、本町を自衛隊訓練場・保養地にすべく、積極的にその誘致を図る考えはないか。</p>	町 長
5	喜 山 康 三	1 出産・子育て支援策の拡充について	<p>(1) 現在、出産・子育て世代には様々な支援が行われているが、今後、消費税の増税や介護保険料の上昇等新たな社会負担を強いられ、家計の負担は格段に増加していくと推察される。このため、出産から高校卒業ま</p>	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 8 年 第 1 回 定 例 会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			での 1 8 年間に加えて、大学進学等による家計負担の軽減が図られるよう、永続性のある思い切った支援策の創設等が喫緊の課題であると痛感されるが、町長は基本的な対策をどう考えているか。	
		2 街づくりについて	(1) 街づくりとはにぎわいを醸し出すことと言ってもよい。にぎわいのシンボルとして庁舎の役目は極めて重要であると考えるが、町長はどのように認識しているか。 (2) 公共交通の在り方と街づくりは表裏一体の関係にあることから、街の盛衰に大きな影響を与える主要な問題であると痛感されるが、本町の公共的な交通政策をどう推進していく考えであるか。	町 長 町 長
		3 公共施設建設等事業の進め方について	(1) 多目的運動広場、いわゆるサッカー場は、計画・着工されてから数年以上が経過している。町長は、公共施設の建設等の事業計画や予算確保の在り方についてはどう考えているか。	町 長
6	麓 才 良	1 子育て・子育て支援対策について	(1) 施政方針の中で、「こども園・小学校・中学校・高等学校との連携を充実させ、心の教育、ユンヌフトゥバ学習、英語学習などにおける一貫した教育の推進に努める。」とあるが、子育て・子育て支援を充実させるため、こども園に保護者の集いを組織し、情報の共有、課題の研修等を行い、小・中・高の P T A との協働体制を構築・強化し支援していく考えはないか。 (2) こども園の保護者やこども園に通園させていない保	町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第1回定例会 No. 6

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			<p>護者も支援対象に含めた上で、保護者の集いをコーディネートする担当には子育て支援員や適任者を委嘱し、協働体制の環境を整備・充実していく考えはないか。</p>	